

七友会 だより

原田三郎先生を偲んで

一期生 藤村 紀行

先日、岩手大学の元学長であり、人文社会科学部の原田三郎氏の訃報を聞いた。享年91歳、大往生であったと思う。充実した人生であったのではあるまいか。

先生は新設された人社のため、東北大学を定年退官された後に定年延長をされて岩手大学の教授に就任された。その後、先生の愛弟子を呼び寄せて教官を充実させ、学長に就任された後も学部の発展に貢献された。いわば、人社の生みの親であり、育ての親であった。

先生に最初に会ったのは、人文社会科学部の開学の昭和52年であったと記憶している。先生の経済政策の講義を受講した。講義の内容はあまり記憶にない（ちなみに成績は良）が、授業の合間に話された先生の人となりを表すエピソードが思い浮かぶ。先生は自分の名前由来について、長男であるが、敢えて父親が謙虚な人格になるようにと三郎と名付けられた旨を話された。私の印象では先生の人格は親の望まれたとおりでであると感じる。

先生は、帝大卒業後、東海銀行（現UFJ）に入行され、その後、社会の矛盾や疑問を感じ大学に戻って、資本主義の本質や欠陥を研究するため学問の道を歩まれたそうだった。時代の背景を考えると、その時代は、第一次大戦による戦争バブルがはじけ、その後の昭和の銀行の倒産などが始まった大恐慌の時代であった。現在の90年代の状況に酷似していた。先生は金融資本主義に経済は収斂されるといったが、現在はそのとおりになっていると看做せるかもしれないし、先生の視点が、再度、意義をもつ時代かもしれない。

卒業が近くなってきたころ先生を囲んだコンパで「酒は、自分でつくように、つがれるようになってはならない」とおっしゃられた。地位が高くなっても、酒をつがれるのが、当たり前であるように傲慢になってはならないとのことであった。しかしながら、私は、実社会に出たあと、これはあまり守れない。現在は、上司のほうが、酒をついであることが多くなっている。

先生の話されたことで、違和感を感じたことがたった1つある。先生は岩手大学は卑下していると話された。「岩大：ガンダイ」というのは、自己を否定した響きがあると話された。「岩手大学」というべきだと。おそらく先生は、「癌大」を連想されてそういうことを言われたのだろう。後日、「私の誤解で失礼なことを言った。岩大は卑下した名称ではない」と謝れた。私は「やはりな」と思った。失礼ながら笑える話だと思った。

先生とは直接関係ないが、4年次の6月、友人と就職活動に（今はなき）夜行急行列車にのって上京した。一期生であった我々には先輩は皆無であり、就職活動はいわゆる飛込み活動であった。私は日本橋の野村證券の本社を訪ねりクルート担当と面接を求めた。幸運にも程なく人事担当と面会することができた。その際、その担当者から原田先生を知ってるか？と思いがけない質問があった。講義を受けたことがあると答えたら、その担当者は東北大学の原田ゼミの出身者であると言った。まもなく、先生の話で会話が盛り上がったのは言うまでもない。先生の偉大さを実感した瞬間だった。

先生の姿を最後に見たのは、卒業後しばらくして盛岡税務署に転勤し、久々に岩手大学の農学部食堂を利用したときだった。食堂を出て仕事に戻ろうと農学部の記念館の付近を歩いていたら、先生の公園内をゆっくりと歩いてた姿が目に入った。ちょっと遠くて、仕事もあり急いでいたので声をかけることができなかったが、先生の微笑みながら、農学部の公園内の樹木をゆっくりと眺めていた姿が目焼きついている。私は幸せで充実しオーラに包まれていると思った。たぶん、新聞紙上で先生が岩手大学の新学長になられたことを知っていたからそういう印象をもったのかも知れない。今、先生の訃報を知って、あの時、なぜ声をかけなかったかと、後悔の念が湧いてくる。

先生は、その時に感じた幸福と充実のオーラのまま天国に逝かれたと思う。ご冥福を祈る。

目次

原田三郎先生を偲んで …… 1
評議員会報告 …… 2
平成16年度事業報告 …… 2
平成17年度事業計画 …… 2
平成16年度会計決算報告 …… 3
監査報告書 …… 3
平成17年度会計予算書 …… 4
同窓会開催についての意見交換 …… 4
進藤浩一先生へ記念品 …… 4
(訃報) …… 4

■ 評議員会報告

平成17年度の定例の評議員会は6月11日(土)13時30分より盛岡市上田公民館の会議室で開催されました。東京や松本、遠くは島根県松江市からの参加もあり17名が出席し、平成16年度の事業報告、会計決算報告および、平成17年度の事業計画案、会計予算案を審議しました。昨年度も話題になった「同窓会」開催について、充分時間をかけて検討しました。その結果、20周年のような企画はなくし、親睦会(パーティー)のみの開催とし、30周年には盛岡で開くことを考慮して東京周辺で行なうことになりました。日時や場所については様々な意見がありましたので、全体的な運営面も含めて、関東支部を中心に相談、検討し具体化することになりました。また、いわゆる個人情報保護法に関しても話しあわれました。従来より情報流出等の懸念から会員名簿の発行をやめていましたが、住所不明者の増加への対策や新卒者等の情報を得る方法も再検討する必要ができました。あわせて、将来的には会報の郵送をやめ、インターネット等への一本化も必要では…との意見もあり、ひきつづき検討していくことになりました。

なお、学部長にお願いしている顧問については新学部長の選出にともない、砂山克彦先生に残任期をお願いしました。また、秋頃には、臨時評議員会あるいはそれに近い会議を開いて、同窓会開催等についての議案を決定することになりました。評議員会終了後は鶯宿温泉で親睦会を開き、盃を重ねながら様々な情報交換を行ないました。

■ 平成16年度事業報告

平成16年度は、前年度に引き続き「同窓会設立20周年記念事業」のまとめ作業と会員の住所確認作業を中心におこなう予定でしたが、担当者の仕事が多忙なため、思うようにできず、会報発行がやっとの状況でした。

一方、就職ガイダンス(「就職懇談会」)は、昨年同様、たいへん好評でした。学部の都合で12月中旬の開催でしたが、3年生を中心に全体で100名を越す参加者があり、来年度も同様に共催する予定です。

16年度の主な活動は次の通りです。

平成16年	6月21日(水)	国立大学法人岩手大学発足記念講演会・記念シンポジウム 同窓会代表として佐原会長が出席 (ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて)
	6月12日(土)	平成16年度評議員会 (岩手教育会館第4会議室にて、17名が参加) 議題：15年度事業報告・決算報告 16年度事業計画・予算 役員改選 他 評議員会終了後、親睦会(盛岡市内にて)
	12月16日(木)	人文社会科学部へ寄附(奨学寄附金として)
	12月17日(金)	就職ガイダンス(「就職懇談会」)共催(人文社会科学部) 体験スピーチとして高橋瑠美子さん、鹿野真源さん、安彦知恵さん を含む8名が参加 全体では教職員・在校生含め100名を超える大盛況
平成17年	3月23日(木)	岩手大学卒業式(岩手県民会館にて) 学部送別祝賀会(中央学生食堂にて) 同窓会代表として佐原会長が出席
	3月25日(金)	会報【七友会だより】第20号発行・会員へ順次送付
	3月末日	退官教官4名へ記念品贈呈(佐原会長) 山崎達彦教授、菊田紀郎教授、金子琢磨教授、小野善康教授

■ 平成17年度事業計画

平成17年度は、昨年度の事業を引き継ぎ、同窓会創立20周年記念事業の整理、会員住所の確認作業をすすめるとともに、18年度に予定している「同窓会」開催に向けて準備を進めたいと思います。

会報は2回の発行を予定し、就職ガイダンスをはじめとして、学部などと協力して学部のイメージアップを図っていきたいと思います。

平成16年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計決算報告

1. 一般会計

<歳入>

(単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
前年度繰越金	3,731,933	3,731,933	0	普通預金(3,306,329)、普通定期預金(900,519)
会費	4,400,000	4,680,000	280,000	20,000円×234人
雑収入	253	249	△4	
計	8,132,186	8,412,182	279,996	

<歳出>

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1. 事業費	3,750,000	1,566,107	2,183,893	
1) 会報発行関係	1,500,000	453,687	1,046,313	
ア. 会報等印刷費	800,000	239,347	560,653	会報印刷、封筒代
イ. 会報等郵送費	700,000	214,340	485,660	会報郵送費
2) 会員活動援助費	350,000	164,420	185,580	親睦会費用援助等
3) 卒業記念品贈呈費	100,000	100,000	0	卒業記念積立
4) 支部援助費	1,000,000	323,640	676,360	関東支部ホームページ維持管理運営費等
5) 文化事業補助	250,000	0	250,000	
6) 寄附金	500,000	500,000	0	人文社会科学部へ寄付
7) 諸費	50,000	24,360	25,640	
2. 会議費	580,000	244,080	335,920	
1) 評議員会会議費	500,000	244,080	255,920	評議員会諸経費
2) 諸会議費	80,000	0	80,000	
3. 事務費	800,000	416,601	383,399	事務用品、振込手数料、ホームページ協賛金等
4. 特別積立金	1,000,000	1,000,000	0	
5. 雑費	100,000	100,000	0	事務謝金
6. 学部設立30周年記念積立	800,000	800,000	0	
7. 同窓会設立20周年記念積立	800,000	800,000	0	
8. 予備費	302,186	0	302,186	
計	8,132,186	4,926,788	3,205,398	

平成16年度収支決算

歳入合計 8,412,182
 歳出合計 4,926,788
 差引残高(翌年度繰越) 3,485,394

2. 特別会計

<歳入>

(単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1. 前年度繰越金	38,866,412	38,866,412	0	年度末積立金=次年度繰越金
2. 新規積立金	2,700,000	2,700,000	0	
3. 利息	8,142	9,362	1,220	
計	41,574,554	41,575,774	1,220	

<歳出>

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1. 積立金	41,574,554	41,575,774	1,220	
1) 特別積立金	25,796,449	25,797,595	1,146	
2) 卒業記念積立金	2,742,871	2,742,909	38	
3) 学部設立30周年記念積立	6,929,722	6,929,809	87	
4) 同窓会設立30周年記念積立	6,105,512	6,105,461	△51	
計	41,574,554	41,575,774	1,220	決算額=翌年度繰越額

監査報告書

平成16年度 岩手大学人文社会科学部同窓会会計決算書について、関係証憑について監査したところ、決算書のとおりであることを確認しました。

平成17年6月11日

監査員 大谷 敬 ㊟
 小松山 修 ㊟

平成17年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計予算書

1. 一般会計

<歳入>

(単位 円)

科目	予算額	備考
前年度繰越金	3,485,394	普通預金(2,584,658円)、普通定期預金(900,736円)
会費	4,740,000	20,000円×237人
雑収入	249	利息
計	8,225,643	

<歳出>

科目	予算額	平成16年度予算額	備考
1. 事業費	3,750,000	3,750,000	
1) 会報発行関係	1,500,000	1,500,000	会報発行、20周年記念CD-ROM作成
ア. 会報等印刷費	800,000	800,000	
イ. 会報等郵送費	700,000	700,000	
2) 会員活動援助費	350,000	350,000	親睦会・交流会等
3) 卒業記念品贈呈費	100,000	100,000	26期分積立
4) 支部援助費	1,000,000	1,000,000	関東支部(ホームページ維持費、盛岡ふるさと会費)、仙台支部
5) 文化事業補助	250,000	250,000	学部交流関係他
6) 寄附金	500,000	500,000	人文社会科学部へ寄附
7) 諸費	50,000	50,000	慶弔費
2. 会議費	580,000	580,000	
1) 評議員会会議費	500,000	500,000	評議員会諸経費
2) 諸会議費	80,000	80,000	
3. 事務費	800,000	800,000	事務用品、データ管理費、ホームページ協賛金等
4. 特別積立金	1,000,000	1,000,000	
5. 雑費	100,000	100,000	事務謝金
6. 学部設立30周年記念積立	800,000	800,000	
7. 同窓会設立30周年記念積立	800,000	800,000	
8. 予備費	395,643	302,186	
計	8,225,643	8,132,186	

2. 特別会計

<歳入>

(単位 円)

科目	予算額	備考
1. 前年度末繰越金	41,575,774	
2. 新規積立金	2,700,000	卒業記念(10万)、特別積立(100万)、学部30周年(80万)、同窓会30周年(80万)
3. 利息	9,362	
計	44,285,136	

<歳出>

科目	予算額	備考
1. 積立金	44,285,136	
1) 特別積立金	26,803,399	
2) 卒業記念積立金	2,843,527	26期生分卒業記念品贈呈費
3) 学部設立30周年記念積立	7,731,382	
4) 同窓会設立30周年記念積立	6,906,828	
計	44,285,136	

— 同窓会開催についての意見交換 —

評議員会において、平成18年度中の開催が決まりました同窓会(親睦会)について、開催予定地が東京周辺ということで、詳しい実施要項案を関東支部が中心となってまとめることになりました。会員が集まりやすく楽しめる企画を…ということで、同窓会のホームページ上でも意見交換中です。会員の皆さんも、ちょっとのぞいてみて下さい。10月頃までには成案し、決定後、今年度中には詳細を発表したいと思っています。関心のある方は、どうぞ気軽に御参加下さい。

岩手大学人文社会科学部同窓会

Tel(留守録)&Fax : 047-336-3945
E-mail : office@shichiyukai.net info@jinsya.com
郵便宛先 ※人文社会科学部内「七友会」宛
020-8550 盛岡市上田3-18-34 岩手大学

ホームページもご覧ください!

http://www.shichiyukai.net/
http://www.jinsya.com/ [関東支部]

— 進藤浩一先生へ記念品 —

進藤浩一先生(元学部長)は、平成17年6月4日、任期満了により岩手大学副学長を終え退職されました。これに先立ち、6月2日、同窓会より細やかですが記念品を贈りました。今後は、宮城県名取市の自宅を中心に、故郷(山梨県小淵沢?)で、物理学などの様々な分野の最先端の研究内容を、小中学生などにわかりやすく伝える「授業」をやってみたいとのことで、しばらくはそちらに専念したいと眼をかがやかせておられました。ますますの御活躍を期待しています。

— (訃報) —

会報準備中、原田三郎先生の訃報を目にしました。7月11日午後2時6分、大腸がんのため仙台市青葉区の病院で死去、91歳。東北大経済学部教授、同大経済学部長などを務め1977年同大名誉教授。岩手大人文社会科学部教授(経済学)を経て、80年から86年まで岩手大学長。86年同大名誉教授。退官後も同窓会の行事に祝電を送ってくださるなど、いつまでも気を懸けて下さいました。心よりご冥福をお祈りいたします。葬儀・告別式は行われなとのことですので、同窓会より弔電を打ちました。